

観る・聴く・触れる 能の世界



区内の小学生（1年生から6年生）を対象に体験型ワークショップを実施します。
本事業は目黒区に寄せられたふるさと納税を活用しています。
今回は「能」をテーマに、所作など実際からだを動かし、簡易な実演も観ながら、
日本の伝統芸能への理解を深めていきます。

- ◇講師 辰巳満次郎先生（シテ方室生流能楽師）
- ◇日程 8月10日（水曜日）または、12日（金曜日）
※ いずれか1日のご参加となります。
10時から11時45分まで
- ◇会場 めぐろパーシモンホール 小ホール
（目黒区八雲1-1-1）
- ◇対象 区内在住・在学の小学生とその保護者
- ◇定員 各日50組100名（参加者とその保護者）
※ 応募者多数の場合は抽選となります。
- ◇費用 無料

これまで皆様からいただいた寄付金を基に、令和4年度は、伝統芸能・能に関する講座を開催しました。この講座は、令和3年度実施を予定し、急遽中止となった事業で、2年越しにやっと実施となりました。

事業概要

- 実施日 令和4年8月10日(水)／12日(金)
- 参加対象 小学1年生から6年生とその保護者
- 募集人数 各日50組100名
- 会場 めぐるパーシモンホール 小ホール
- 講師 シテ方宝生流能楽師 辰巳満次郎氏
- 参加費 無料

講師プロフィール

シテ方宝生流能楽師。文化庁文化交流使。公益社団法人宝生会理事。ほか

故辰巳孝の次男として神戸市に出生。孝に師事し、4歳で初舞台。辰巳家は代々、加賀藩前田家に仕え、能を伝えて来たが、満次郎祖父の辰巳孝一郎の代より大阪に移り住む。1978年東京藝術大学音楽学部邦楽科に入学と同時に上京し18世宗家故宝生英雄（ふさお）の内弟子となる。

東京大阪間の東海道を中心に全国で公演や実技指導、普及活動を行う。ニューヨーク国連前広場、メトロポリタン美術館ホール、エジプトスフィンクス前、パチカンなどの海外公演も多数参画。また、伝統的な手法による新作活動を手掛け、新作能「マクベス」「オセロ」などの演出・主演をする。



当日の様子



初めに「能の話」について。次に「謡体験」、
「所作体験」と続きました。最後に、講師らによる能「羽衣」（短縮版）を公演しました。

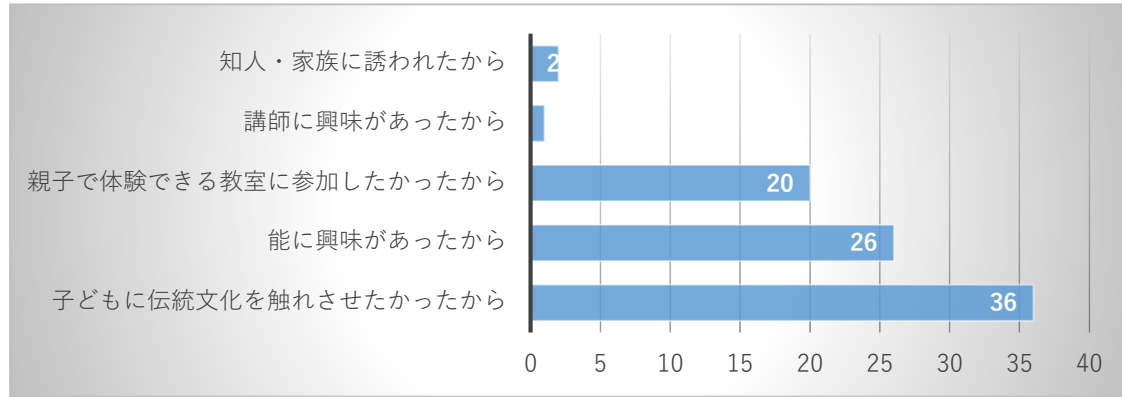
2日間で、94組
のお申込みをいた
だき、10日は32組
67名。12日は22
組48名にご参加い
ただきました。



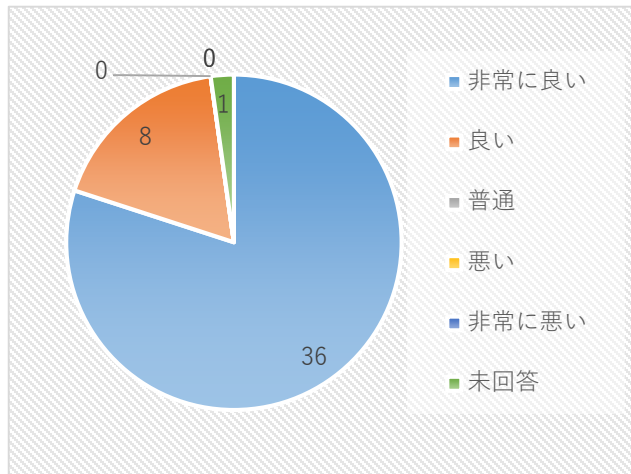
アンケート結果

45名の参加者から回答をいただきました。

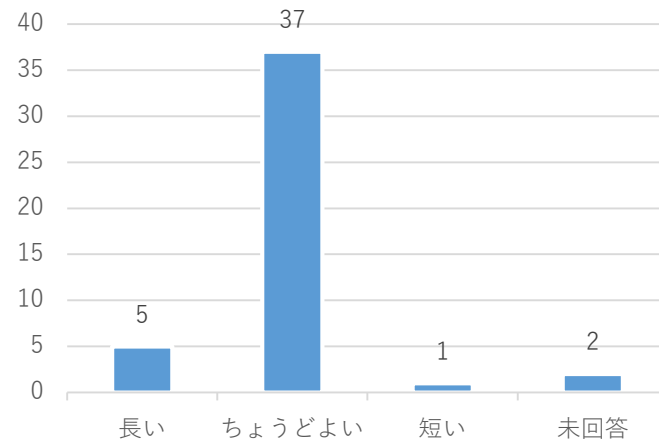
・参加しようと思ったきっかけは？（複数回答可）



・内容はいかがでしたか？



・講座の時間はいかがでしたか？



参加者の声

◆ 日本文化の歴史的な面白いお話が伺えて、興味深かったですし、ユーモア溢れる話術が素晴らしかったです。

◆ 動作のワークショップをしたことで、実際に能をみた時、足・手や姿勢などの動きも理解できました。純粋に楽しかったです！

◆ 生の舞台を間近で拝見でき、本当に素晴らしい経験になりました。

◆ 聞いたり調べたりした知識だけでなく、直接、見る・触れる・体験することが子どもにとっては大事だと思うので、参加出来て嬉しく思います。

などなど

～ご寄付いただきありがとうございました。～